

☆《北海道建築指導センターからのお知らせ》

(1)令和4年度9月住宅講座

テーマ:「安心を手に入れる断熱改修・耐震改修」

～暖房費を抑えて快適に過ごすための北国の冬対策と地震対策～

日時:令和4年9月30日(金)14:00~16:00

定員:40名 参加費:無料

会場:札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 10階「1060会議室」

概要:暖房によるエネルギー消費が多くなる冬の北海道。

暖房費とCO2排出量を抑えて、環境に優しく快適な住宅に生まれ変わる断熱改修と、地震の際に被害を少なくする耐震改修を紹介します。

講師:奈良 颯子氏 (一財)北海道建築指導センター 住宅相談員

奈良建築環境設計室 室長(札幌市)

主催:一般財団法人北海道建築指導センター

お問い合わせ:企画総務部企画総務課 TEL 011-241-1893

申し込み方法:案内チラシの申込書により、FAXでお申し込みください。

案内チラシはこちらから

https://hokkaido-ksc.or.jp/assets/files/06_event/R4.9_korona_torikumi_jutakukoza.pdf

(2)(一財)住まいづくりセンター 2022年リフォーム情報交換会のご案内

【リフォーム評価ナビWebセミナーのご案内(参加費:無料)】

リフォーム評価ナビでは、初の全国統一オンラインイベント「2022年リフォーム情報交換会」((一財)北海道建築指導センター:後援)を開催いたします。

リフォーム業界が今こそ向き合わなければならない内容をお伝えしますので奮ってご参加ください。

日時:令和4年9月6日(火)13:30~15:30

会場:完全オンライン形式(ZOOMウェビナー)

主な内容:4月開始の“調査報告義務”から考える石綿対策 など

※セミナー内容の詳細チラシやお申し込みは、

<https://www.refonavi.or.jp/download/doc/2022jyouhoukoukannkai.pdf>



☆《JIA(日本建築家協会)からのお知らせ》

(1)「北海道建築展 2022」

会場:札幌芸術の森美術館

開催期間:9月23日(金)~10月10日(月) 9:45~17:00(入場は16:30まで)

観覧料:一般500円 高校・大学生300円 シニア(65歳以上)400円 中学生以下無料

又、プレイベントを地下歩行空間で行います

(2)プレイベント「チカホ模型展」

会場:北大通り交差点広場東

開催期間:9月17日(土)~9月19日(月)

☆ STREETの紙配布取りやめについて(来年1月からメール配信・アドレスのご登録はこちら↓)

現在、連合会会誌と同梱して送付している札幌支部ニュース STREETのペーパーレス化を進めます。(最新版はHPに掲載中です)

さらに、より早い情報提供をするためにメールアドレスをご登録された支部会員の皆様へ、メーリングリストを利用した情報発信を行います。メール配信ご希望の方は、下記アドレス

(またはQRコード)よりメールアドレスのご登録をお願いいたします。
<https://forms.gle/ZoqVRCTbEH5xXo4J7> グーグルフォームに接続できない方は
E-mail : hksj@h-ab.com まで、お名前とメールアドレスを送ってください。



北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

■ 視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■ 9月パスワード： Fur023

『失敗から学ぶ』 VOL.12

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

■ 設計中のヒヤリハット

・ 避雷針の電気設備設計図が新JIS、建築設計図が旧JISと混在していた。

※一つの建物に避雷針の新JIS仕様と旧JIS仕様の混在は不可です。

避雷針の設計は電気設備担当者が設計図を作成しますが、笠木を使用する棟上げ導体の場合は意匠設計者も旧JISか新JISかを理解して笠木の仕様を決定する必要があります。

■ 監理中のヒヤリハット

・ 監理者が承諾した施工図で施工後に不具合が発生した。

※各工事の施工図に関して問題が無いことを確認できますが他の工事との取合いまでは完璧に確認できません。不具合は各工事間の取合いの調整不足が原因で発生することが多く、各工事間の取合いは基準図や総合図を作製することで調整・確認することができます。

■ 施工中のヒヤリハット

・ サーバー室に換気設備がないことを監理者の現場巡回時に指摘をされた。

※サーバーなど発熱量が多い機器を設置する部屋は換気設備が必須です、規模によっては冷房設備が必要な場合もあります。設計施工の工事なので設計者に伝えて対応しました。

■ 完成後のヒヤリハット

・ ホテル客室階エレベーターホールで異音聞こえる。

※調査するとエレベーターホール奥のEPSに設置された電気盤のファンの騒音でした。EPSから騒音が発生すると認識していませんでした。設計図に廊下と客室間、客室と客室間の遮音壁の性能指定はありましたが、EPSとエレベーターホール間は特に記載がなく盲点でした。

自習型認定研修の設問

設問 1

避雷針設備で正しいのはどれか？

- 増築の場合は既設に合わせる。
- 用途によって旧JISか新JISか異なる。
- 地域によって旧JISか新JISか異なる。

設問 2

発熱機器の対応で正しいのはどれか？

- 各機器にファンが設置されているので建屋側の換気設備は必要ない。
- 特に決まりはない。
- 設計段階で発熱量を確認して必要な設備を設置する。



認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。